

令和3年度

「言語聴覚の日」イベント 報告



大分県

～安心して言語聴覚士のことを知っていただくために～

皆さん、こんにちは。大分県言語聴覚士協会の阿部秀彬と申します。

昨年度に続き、コロナ禍における集合型のイベント開催が難しい状況のなか、一人でも多くの方々に「言語聴覚士」の魅力を伝えたい思いで活動しました。

今年度は昨年度好評であった県内市町村のケーブルテレビ出演を通じたPR活動に加え、チーム医療推進協議会・日本言語聴覚士協会監修の冊子（聞く・話す・食べるの専門職「言語聴覚士」ことばは生きる力）をケーブルテレビの出演は6市町村で、出演時間は10分ほどですが、地域密着型のメディアを通じて言語聴覚の日、県士会活動、県内養成校、冊子の紹介など、言語聴覚士の魅力を伝えることができたと考えます。

数社より来年度の出演オファーもいただき、全市町村ケーブルテレビ出演達成に向け大きな手ごたえを感じました。

次に、冊子の配布です。配布に際しては、行政をはじめとした関係諸機関への周知や関連手続きなど大変な面もありましたが、図書館、中学校、高等学校の計218か所に配布することができました。

図書館では、多くの利用者の目に留まるように新着本を紹介するコーナーへ設置していただきました。

市役所の担当者からは「人が生きるうえで一番大事なことを支援する素晴らしい職種であることが改めてわかりました。もっと多くの市民に紹介していきたいので追加で冊子をいただきたい」や

「まんがでの紹介はわかりやすく、生徒の進路相談や助言に大変役に立った」などの反響がありました。

今回、福利厚生部員のみなんで企画した取り組みは、新しい広報啓発方法としても次年度以降につながるものとなりました。

ご協力いただきました運営スタッフ、関係者の皆様、ありがとうございました。

今後も地域に根ざした言語聴覚士を目指して、行政機関や関連団体と連携し、地域住民をはじめ多くの方々に言語聴覚士の魅力を伝えていけるよう活動していきたいと思っております。

公益社団法人 大分県言語聴覚士協会 福利厚生部部長

阿部秀彬（竹田市地域包括支援センター）

